

岐阜経済大学 校友会報

岐阜経済大学校友会
〒503-8550
大垣市北方町5-50
岐阜経済大学内
TEL(0584)77-3511
FAX(0584)81-7807

卒業生と大学の繋がりを深める

校友会長 恩田秀比良



昨年、母校創立40周年記念への校友会協賛事業として6月に関ヶ原カントリーで親睦ゴルフ大会を開催し、土屋嶋理事長をはじめ学校法人役員並びに評議員、本学卒業生就職先企業役員、大学教職員(現職・OB)、校友会等、約70余名にご参加いただきました。また、11月の校友総会では、NHK「その時歴史が動いた」番組キャスター松平定知氏の講演会を大学講堂で開催し、約800名が来場されました。多数の卒業生の皆様のご参加を頂き、何れも好評のうちに終了できましたことを、厚くお礼申し上げます。

また、本年9月には、滋賀県湖北支部の設立総会が長浜市で開催されました。昨年の米原支部設立から湖北支部設立へと着実に発展、その輪を広げられた関係者のご尽力と熱意に感銘し、敬意を表したいと思います。今後も、滋賀県支部の創設に向けた活動に対して、校友会としてもできるかぎりのご支援をさせていただきます。さて、来春、経済学部経

ゼミ・クラブ等の校友グループOB会を開催しましょう!

校友の皆様、ゼミ・クラブ・職域団体等のOB会を開催しませんか?一定の条件を満たした校友グループに対しては、開催にあたり1年に1回、祝い金等をお渡ししております。また、大学の教室を、OB会の会場として貸し出すこともできます。皆様ぜひOB会を開催しましょう!

~2008年度・活動実績~

- ラグビー部OB会(7月13日開催)
- バドミントン部OB会(11月9日開催)
- 第二部経済学部第1回生の会(11月2日開催)
- 陸上競技部OB会(11月22日開催)

*大学に報告のあったもののみを掲載。

滋賀県湖北支部設立総会が開催される

去る9月14日(日)滋賀県長浜市の北ビコホテルグランドツインにて、校友会滋賀県湖北支部設立総会が開催されました。

当日は、恩田校友会長、高木・青島・伏屋副会長の臨席のもと、大学からは学長代

理で、野松経営学部長を来賓に迎え、22名の参加で交流を深めました。

将来は、湖北支部から滋賀県支部の立ち上げをめざし、頑張っていきたいと熱心に意見交換が行われました。

「龍の瞳」

成長は素晴らしく、当時、栽培していたコシヒカリの田んぼで、ひとときわ背丈が高く、もみの大きな稲穂は明らかに自らの存在感を私にアピールしていた。そのときは突然変異だとは思わなかったけれど、私は興味本位で、そして天の声に動かされるように翌年、試験栽培を行った。

「龍の瞳」のコンセプトは、「山の再生」である。広葉樹と針葉樹の混交林に山を変えて、栄養分に富んだきれいな水を水田に引く。田んぼは低農薬に徹して栽培し、きれいな水を下流に流す。流域でも川の水質に関心を持って、良い水を海まで届けたいという夢を持っている。

龍の瞳は、「味に衝撃を受けた」、「おかずがいらぬい」などと、消費者に絶賛されて

http://www.ryunohitomi.jp/

「龍の瞳」が
岐阜新聞
(2008年7月8日)
岐阜県広報誌「ふれあい」(8月号)
岐阜新聞
(2008年11月4日)
で紹介されました!

或いは影響力をお持ちの卒業生(採用担当の役職者等)の皆様におかれましては、産業界および企業の人材ニーズを、最短・最速・最適に情報提供していただける様、ぜひご協力をお願い致します。

母校は今、大学間の厳しい競争的環境のなかで、有為の人材を養成し、地域社会のニーズにこたえる、期待される新しい大学像をつくるべく、「50周年ビジョン」を策定中です。会員2万2千人を超えた校友会としても、大学と一層連携し、そして、繋がりを深め、校友と大学双方の発展に資するよう努める所存であります。

校友会員の活動紹介

本学卒業生・今井隆さんが発見した 日本一のお米「龍の瞳」の紹介

2000年9月、10本ほどの稲穂との出会いが、私の人生を変えた。それが、「龍の瞳」である。

栽培していたコシヒカリの田んぼで、ひとときわ背丈が高く、もみの大きな稲穂は明らかに自らの存在感を私にアピールしていた。そのときは突然変異だとは思わなかったけれど、私は興味本位で、そして天の声に動かされるように翌年、試験栽培を行った。

その後は、試験栽培していただける農家を探し、下呂市内から岐阜県内に栽培を広めた。06、07年と全国米・食味鑑定コンクールで金賞。07年には「あなたが選ぶ日本一おいしい米コンテスト」で日本一に輝いた。

龍の瞳のコンセプトは、「山の再生」である。広葉樹と針葉樹の混交林に山を変えて、栄養分に富んだきれいな水を水田に引く。田んぼは低農薬に徹して栽培し、きれいな水を下流に流す。流域でも川の水質に関心を持って、良い水を海まで届けたいという夢を持っている。

龍の瞳は、「味に衝撃を受けた」、「おかずがいらぬい」などと、消費者に絶賛されて

いる。低農薬に徹して、化学肥料を押さえて栽培されているし、生産者の情熱が龍の瞳に注がれている。

米は、稲が次世代を残す為に作った種である。それを人間が頂いて、自らを存えている。食生活が乱れ、人間がおかしくなりつつある現代に、龍の瞳は、日本の大本を変え、働きをするかもしれないと思う。

人の願いは、必ず天に通じて実現する。情報を発信し、有益情報を受信する感性を持ち、人が喜ぶことを粛々と行うこと。拝金主義が蔓延する世の中に、「服の清涼感を届けたい」と思っている。

「龍の瞳」育成者 今井隆

2007年度校友会決算書

2007年4月1日から2008年3月31日まで (単位:円)

収入の部			
科目	予算額	決算額	差異
会費収入	6,180,000	6,400,000	△220,000
利息収入	40,000	109,732	△69,732
前年度繰越金	14,015,574	14,015,574	0
収入の部合計	20,235,574	20,525,306	△289,732
支出の部			
科目	予算額	決算額	差異
大学創立40周年記念誌代金事務費	6,000,000	3,907,232	2,092,768
校友会報発行費	2,500,000	2,492,807	7,193
卒業祝賀会費	2,500,000	2,504,615	△4,615
支部育成助成費	800,000	312,820	487,180
役員会費	400,000	299,761	100,239
入学記念品費	350,000	318,925	31,075
母校後援事業費	1,000,000	536,765	463,235
インターネット事業費	100,000	0	100,000
予備費	6,585,574	148,800	6,436,774
次年度繰越金	0	10,003,581	△10,003,581
支出の部合計	20,235,574	20,525,306	△289,732
予備費内訳			
内訳	金額		
事務処理用PC購入	127,800		
職域団体呼びかけに関する交通費	21,000		
計	148,800		

2008年度校友会予算書

(単位:円)

収入の部				
科目	予算額	前年度予算額	比較増減	摘要
会費収入	4,200,000	6,180,000	△1,980,000	210名×20,000円
利息収入	40,000	40,000	0	
前年度繰越金	10,003,581	14,015,574	△4,011,993	
収入の部合計	14,243,581	20,235,574	△5,991,993	
支出の部				
科目	予算額	前年度予算額	差異	摘要
校友会総会費	0	6,000,000	△6,000,000	
校友会報発行費	2,500,000	2,500,000	0	
卒業祝賀会費	2,500,000	2,500,000	0	
支部育成助成費	800,000	800,000	0	
役員会費	900,000	400,000	500,000	
入学記念品費	350,000	350,000	0	
母校後援事業費	1,000,000	1,000,000	0	
インターネット事業費	1,000,000	100,000	900,000	
予備費	5,193,581	6,585,574	△1,391,993	
支出の部合計	14,243,581	20,235,574	△5,991,993	

2008年度校友会幹事会開催

岐阜経済大学校友会 2008年度定例幹事会が、6月7日(土)午後3時30分より大垣市内「ちかさわ」を会場に開催されました。幹事会には、黒川学長、説田副理事長、木村学部長、野松学部長、竹本元会長、堀前会長、恩田校友会会長はじめ、校友会役員28名が出席して行われました。

議事では、最初に2007年度事業および同期決算について、事務を担当する大学事務局から説明があり、ついで監事より適正な会計処理であったことを認める監査報告がなされました。

続いて2008年度事業計画案ならびに同期予算案が提案され、これが了承されました。また、役員人事では、新卒業生幹事として山田雄介氏(経済学部経済学科)、高橋亜季氏(経済学部コミュニケーション福祉政策学科)、山本亮太氏(経済学部コミュニケーション福祉政策学科)、柴田匡美氏(経営学部ビジネス戦略学科)、原田啓史氏(経営学部経営情報学科)、岩田悠矢氏(大学院経営学研究所修士課程)を選出いたしました。

なお、2007年度決算、2008年度予算は次の通りとなっております。



大学の近況について

施設設備が一段と充実しました!

創立40周年記念第二期事業

創立40周年記念第二期事業として、平成20年度は次の事業を行いました。

●ポルト部合宿所建設

岐阜県海津市長良川国際レガッタコース隣接地にポルト部合宿所鉄骨造2階建約888㎡を建設しました。



●8号館経済学部研究室移設改修

老朽化した11号館(旧D号館)経済学部研究室を閉鎖し、8号館3階を経済学部研究室として改修しました。経済学部の恩師をお尋ねの際は、8号館3・4階におこしください。



●野球場再整備(照明設備設置、内外野整備)

内外野の土を入れ替えることで雨天後の水掛けが改善されました。また、夜間照明を設置することで、長時間にわたって練習できる環境となりました。



●学内無線LAN設置

学内の主要な教室(ゼミ室、講義室)に無線LANを導入しインターネット環境を整備することで、多様な授業を支援できるようになりました。

2008年度課外活動実績

＜ボート部＞

●全日本大学選手権大会
男子シングルスカル(今井祐樹) 4位
男子ダブルスカル(嶋田盛一、東野英貴) 5位
男子舵手付きベア(仲矢俊之、久司和矢、富田龍平) 6位
●全日本軽量級選手権大会
男子舵手無フオア(嶋田盛一、豊田正宣、染瀬貴裕、小畑直之) 8位

＜朝日茨戸レガッタ＞

●朝日茨戸レガッタ
男子シングルスカル(今井祐樹) 準優勝
男子ダブルスカル(今井祐樹、嶋田盛一) 準優勝
男子舵手付きベア(仲矢俊之、清水晶也、嶋田盛一、小畑直之、富田龍平) 準優勝

＜中日本レガッタ＞

●中日本レガッタ
成年男子舵手無フオア(嶋田盛一、豊田正宣、久司和矢、小畑直之) 準優勝
成年男子舵手付きベア(清水晶也、梅木徹、若宮大起、大橋智也、富田龍平) 3位

＜陸上競技部＞

●ヨーロッパ遠征【東海学生陸上競技連盟代表】
Flanders cup meeting-Nacht van de Gneise feesten(ルギー)

＜女子バレーボール部＞

●東海大学バレーボールリーグ戦春季大会 1部8位
●西日本バレーボール大学男子選手権大会 決勝トーナメント出場
●準硬式野球部
東海大学準硬式野球秋季リーグ戦(同率1位)

＜女子バレーボール部＞

●東海大学バレーボールリーグ戦春季大会 5部2位(4部昇格)
●岐阜県大学バレーボールリーグ戦春季大会 2部3位
●ソフトテニス部
岐阜県学生ソフトテニス選手権大会(中山裕之、成相拓斗) 準優勝
●岐阜県大学対抗ソフトテニス大会 男子Aチーム 優勝

＜卓球部＞

●東海学生春季リーグ戦 3部2位
●女子バスケットボール同好会
岐阜県学生バスケットボール選手権大会 1部2位

協定の締結

FC岐阜と連携協定を締結

2008年5月25日、「地域に有為な人材を輩出すること」を教育理念として掲げ、地域社会に貢献することを以て教育研究の振興をめざす本学は、「スポーツを通じて地域貢献」というチーム理念を掲げる、FC岐阜と連携協定を締結しました。

協定はこれまでの協力関係を包括的に拡大したもので、学生がFC岐阜でのインターンシップやボランティアで実践的なスポーツ経営を学ぶことができるようになりました。また、引退したJリーガーに対しリカレント教育を行うことや、サッカー教室を共同開催することなどを通じて、地域のスポーツ文化発展を図っていきます。

郡上市と地域連携協定を締結

2008年7月28日、岐阜経済大学は、郡上市と地域連携協定を締結しました。

協定書調印式には、日置郡上市長・黒川学長をはじめ、双方の関係者総勢25名が出席し、盛大に挙行されました。この協定は、郡上市の掲げる「みんなで作る郡上」人と自然が調和した交流文化のまちの実現のため、知的財産、相互の資源及び研究成果の活用による文化、産業、教育、福祉、学術の分野等での連携協力を目指すものです。

今回の郡上市を加え、本学が地域連携協定を結ぶ自治体は、岐阜県および県内7市町の計8件となりました。今後も引き続き、地域社会の再生と地域経済活性化の一翼を担える大学として、それぞれの市町との協定内容の具現化に取り組んでまいります。

校友会員の子等の入学に係る

入学料免除を実施

校友会員による

推薦入学制度を実施

岐阜経済大学では、校友会員(本学卒業生)の子・兄弟・姉妹が本学に入学する場合には入学料を免除しています。また、校友会員の子に限って面接だけで入学者選考を行う特別推薦入学制度を実施しています。

●入学料の免除

本学が実施するAO入試推薦入学一般入試のいずれの選考方法であっても、校友会員の子・兄弟・姉妹が本学に入学する場合には入学料26万円を免除します。免除の方法は、入学手続時には一旦納入をいただき、申請により3月末に当該金額を返還するという方法となります。入学料以外の検定料や学費は減免の対象となりません。

大学事務局では入試業務の中でどの受験生が校友の関係者であるかを把握することはできかねますので、出願時、又は入学手続時にその旨ご報告下さい。なお、特待生・奨学生との併用は不可です。

●特別推薦入学制度*

岐阜経済大学では指定人推薦入学制度と称し、校友会員の皆様が指定人として、ご自身の子弟に限って本学への入学について推薦いただき、面接による入学者選考を行うものです。推薦の対象学部学科は次のいずれも可です。岐阜経済大学の学部学科構成は次の通りです。

- ・経済学部
- ・臨床福祉コミュニケーション学科
- ・経営学部
- ・情報メディア学科
- ・スポーツ経営学科

出願日程等は下記の通りです。詳細の照会、出願書類の請求等は大学入試広報課までご連絡下さい。

入試広報課直通
電話 05847733510

【特別推薦入学制度】

*当入学試験は、岐阜経済大学AO入試に準じて実施します。出願書類のうち、高等学校の推薦書は「指定人推薦入学推薦書」(本学所定)に代え、また志願者と校友会員の親子関係を証明する書類(住民票など)が必要です。エントリーシート

職員人事

採用 2008年4月

高橋 亜季 総務課主事

河出 裕智 キャリア支援課長

昇格・配置転換 2008年4月

高橋 正紀 教授(准教授)

中川 裕司 教授(准教授)

山田 志郎 准教授(講師)

山田 武司 准教授(講師)

渡辺 貴裕 准教授(講師)

加藤由紀子 准教授(講師)

勝部 恭子 総務課主査(総務課主事)

塚原 康之 財務課主査(財務課主事)

濱崎 正人 学生課主査(学生課主事)

釣餌 文志 教務課長

松井 典子 企画広報課長

宮川 祐志 総務課長(研究支援課長)

安田 天 企画広報課長補佐

大江 春彦 総務課主事

大橋 雄一 総務課主事

退職 2008年3月31日付

河合 恒生 教授

藪内 武司 教授

国分 幸 教授

岡田 洋子 教務課長

藤田 玲子 総務企画課主事

篠田日出男 岐阜県支部長

1970年度卒(2008年7月3日永眠)

森 達則 校友会幹事

1980年度卒(2008年1月14日永眠)

校友会役員計報